

保証人対象

大学との連絡会 2025

学生取材レポート 9月27日 土曜日

取材協力：東京都市大学 新聞会

2025年度の「保証人対象 大学と保護者との連絡会」が、8月30日(土)より全国20カ所の会場で開催され、多くの保証人の皆様にご参加いただきました。最終日となった9月27日(土)に行われた世田谷キャンパスと横浜キャンパスの様を、東京都市大学新聞会メンバーの協力のもとご紹介いたします。



世田谷キャンパス

大規模リニューアルにより学修環境が向上

きめ細かい学生生活支援体制やキャリアサポート

この日世田谷キャンパスでは、午前10時から情報工学部、都市生活学部、人間科学部が、午後1時30分から理工学部、建築都市デザイン学部が学科(学部)別説明を開催しました。

情報工学部情報科学科の学科説明会では、中野秀洋主任教授による学科説明に始まり、世田谷キャンパスの大規模リニューアルに目処がついたことや、横浜キャンパス新棟建設、リカレント教育を担うTCU Shibuya PXU(東京都市大学 渋谷パクス)の誕生といった大学全体の新しい動向を紹介。「学生生活をきめ細かくサポートし、安心・安全に学生生活を送ることができるよう各種施策を充実させている」と話し、クラス担任制度を設けたり、専門のカウンセラーがメンタル面での相談に対応する学生相談室を開設していることなどを説明しました。



情報工学部情報科学科の学科説明会の様子。

教務委員の相原研輔准教授は、学修の流れや学修要覧の見方を分かりやすく解説した後、TAPをはじめとする全学的な留学プログラムや国際交流プログラムの拡大により、グローバル人材の育成に一層力を入れていることを強調しました。「単位取得状況やGPAは、自宅に郵送する成績表で確認することができ、学生たちがきちんと授業に出ているかを保証人が把握できる出席確認システムも運用しています」と話しました。

続いて、就職・進学担当の兪明連教授が、大学院進学を推

奨してそのメリットを紹介。学生の中に大手企業を志望する安定志向が強まっていることなど、就職動向について概括した後、「本学のキャリア支援には定評があり、就活時に活用できるよう、独自のキャリアデザイン『TCU FORCE』も用意している」と話しました。

学生時代のさまざまな経験が就職活動に役立つ

理工学部医用工学科の学科説明会では、京相雅樹主任教授が、大学と学部・学科の最近のトピックスに触れた後、「この連絡会は1967年から実に60年近く実施している」と、都市大が伝統的に保証人や学生との良好な関係性を大事にしていること



理工学部医用工学科の学科説明会では京相主任教授が学科の概要を詳しく紹介

を伝えました。就職活動については、「海外インターンを始めキャリアサポートを徹底している。1年次から将来を見越して動いた方が良い」と助言しました。

授業や単位取得の流れについて解説した、教務委員兼TAP担当の桃沢愛准教授は、「総合力を高めるため、理学系、工学系のどちらかに偏らないよう、まんべんなく履修した方がよい」とした上で、臨床工学技士の受験資格取得に必要な追加科目を用意していることなどを話しました。また海外インターンシップにこれまで400名以上送り出しており、3、4年生中心に実施していることも紹介しました。

キャリア委員の小林千尋講師は、「大学4年間でできるだけいろいろな体験をしてほしい。」と、インターンシップを強く推奨し、その際の足掛かりとして、夏のワンデイインターンシップなどについても言及しました。同学科ではこの後、学年別の学科・学生懇談会を行いました。